

横浜グリーンエキスポ 横浜市出展「建物空間を活用した発信拠点」 三菱ガス化学株式会社を代表とする企業グループと協賛契約を締結 ～環境循環型メタノールとペロブスカイト太陽電池に関する展示物の貸与～

横浜市は、横浜グリーンエキスポ会場に、地球にやさしい暮らしや環境とのかかわりを身近に体感できる2か所の拠点をつくります。そのうち、Urban GX Village内の「建物空間を活用した発信拠点」では、未来に向けて挑戦する市民・企業の皆さまとともに、「ライフスタイル・ゾーン」「フューチャー・ゾーン」の2つのゾーンを通じて、横浜が目指す循環型の未来のまち・暮らしを発信します。

この発信拠点において実施する先進技術の展示体験について、展示物や機器・建材等の貸出・提供に向けた協議を進めてきた結果、このたび、三菱ガス化学株式会社を代表とする企業グループとの間で合意に至り、令和8年8月6日に先進技術の展示体験に関する協賛契約を締結します。

1 協賛契約の相手先

代表構成員 三菱ガス化学株式会社
構成員 株式会社エネコートテクノロジーズ



2 協賛内容

- (1) 回収したCO₂、廃プラスチック、バイオマスなどから製造する環境循環型メタノール「Carbopath™」に関する展示物の貸与
- (2) 軽量性・耐衝撃性・高いデザイン自由度を備えた高機能ポリマー部材とペロブスカイト太陽電池を一体化した展示物の貸与

3 来館者に提供する体験内容

廃棄物やCO₂を資源として活用する循環型メタノール「Carbopath™」と、都市空間での発電を可能にするペロブスカイト太陽電池を通じて、資源循環と再生可能エネルギーの活用が連携した循環型社会の実現に向けた未来像について、来館者の理解を深めることを目指します。

なお、本協賛に関連する技術・取組については、[三菱ガス化学株式会社のプレスリリース](#)をご参照ください。



4 先進技術の展示体験を通じて伝えたいメッセージ

「世界の明日を、みんなでひらく。Circular City YOKOHAMA」をコンセプトに、サーキュラー（循環）に挑戦する協賛企業の皆さまとともに、未来にときめく体験空間を創りあげ、横浜が目指す循環型の未来の暮らし・まちを発信します。そして、暮らしの「気づき」と「きっかけ」から生まれる一人ひとりの行動を、先進技術がもたらす「未来への希望」につなげていきます。

裏面あり

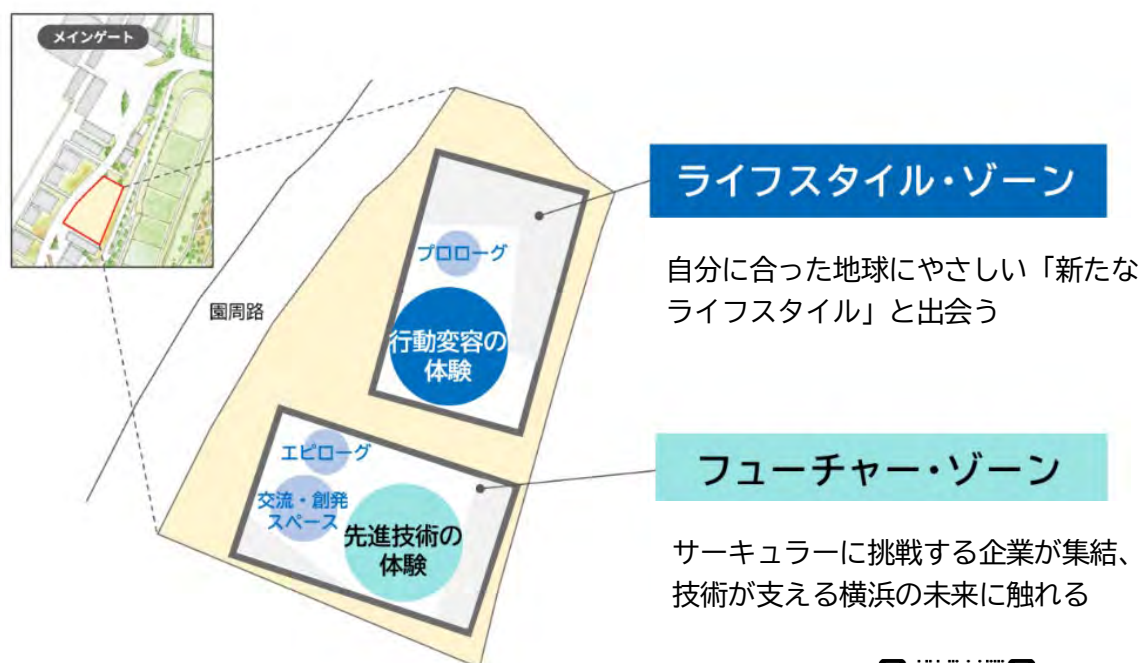


GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



5 建物空間を活用した発信拠点の概要



※詳細については、[横浜市ホームページ](#)をご参照ください。

お問合せ先

GREEN×EXPO 推進課担当課長 齋藤 TEL:045-671-4919



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

